

基本方針

1. 患者さまの尊厳を守り、患者さま中心の医療を提供する
2. 安全安心とともに患者さまの生活の質にも配慮した環境を提供する
3. 高い知識と技術を習得し、自己実現を推進する
4. 多職種の連携を深め、できる限り患者さまの自立を支援する
5. ありまこうげんグループ全事業とともに地域に貢献する
6. 患者さま、ご家族さまからのご意見を尊重し、守秘義務を守り、人権に配慮した医療を提供する

2021年度上半期を振り返って～未来は明るい～

社会医療法人 寿栄会 理事長 鈴木 実

初秋の候 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より当法人の事業運営にあたりましては、地域の皆様方のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今年も新型コロナウイルス感染拡大には本当に悩まされております。多くの方々が今もって自粛要請が続く、大変なご苦労をされていることと拝察いたします。職場でもご家庭でも様々な場面での御心労を心配しておりますが、一日も早く終息することを願い、日々感染防止対策の備えを十分に遂行していく所存です。

さて、2021年度もあつという間に折り返し地点を迎えました。病院や老健等各施設の運営においては、幸いにして感染拡大には至っておらず、多くの患者さまや利用者さまに安心してご利用いただいております。しかし、ご面会に制限があるなど、充分な対応ができていないこともあり、ご不便をおかけしていることと存じます。少しでも改善できるよう、各施設での取り組みを推進していきます。

そんな中、ありまこうげんグループでは、特別養護老人ホーム「さくらガーデン」が9月1日に開設されました。大変多くの方々にご支援いただきながら、3年かけての事業がこの度完成しました。素晴らしい眺望と居心地

のよい生活環境が利用者さまの心身を癒してくれるものと大いに期待しております。また、今年4月から着工された「ありまこうげんホスピタル」新A棟建設工事も順調に進んでおり、来年6月の完成を今から楽しみにしています。さらに「ありまこうげんグループ」さらに構想2025」では、茅葺茶室「夢里庵」の復活プロジェクトも始動し、長尾町岩谷地区の地域のご理解や里づくり協議会のお力添えをいただきながら、産官学連携活動の一環として新たな事業を推進していきます。

このようにコロナ禍においても様々な事業活動は進んでおります。今後は、療養環境の改善や働き方改革にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。また、自粛一辺倒だった人事交流や外部との連携活動、研修会など、下半期はリモート環境を整備し、形式を変えて実施できるように準備をしているところです。本当に課題はいつも満載ですが、これからもできることを一つひとつ実践していきます。我々「ありまこうげんグループ オーバーエイジメンバー」、還暦からの底力をもう少しお見せできればと思っています。これまでと変わらず、これからも応援のほどよろしくお願い申し上げます。

ありまこうげんホスピタル 施設利用者の皆さまへ

ありまこうげんホスピタル“Ａ棟”が生まれ変わります



(仮称)新A棟 完成イメージ

外来診察室・検査室のあるA棟は築50年近くの建物であり、老朽化も著しく耐震化も求められています。現在工事中である(仮称)新A棟をN棟南側に建設し、その後、N棟を外来棟として運用する予定です。A棟建物の刷新で精神科救急および外来機能の充実を図っていきます。また新A棟は、患者さまがより快適に入院生活を行うことができるよう、全室個室となっています。アメニティーの改善とともに療養環境が一層改善されていきます。

なお、工事期間中は、騒音、振動などのご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

新A棟建築工事プロジェクト責任者 社会医療法人 寿栄会 鈴木 実



工事内容 及び期間

① (仮称)新A棟 建設工事
2021年4月～2022年6月
48床×3病棟の全室個室病棟の整備

② N棟・A棟改修工事
2022年8月～2023年2月
N棟に外来機能を集約。
A棟南側の建物を管理部門へと改修

③ A棟解体・外構工事
2023年3月～2023年8月
現在の入り口、外来部門のあるA棟を
解体し、駐車場を整備

《工事に関するお問い合わせ》 施 工:日揮株式会社 連絡先:078-907-5178 担 当:現場事務所 所長 林田

患者支援センター研修実施報告

ハイブリッド研修に参加しました

患者支援センター副センター長 小宮 智子

昨年度はコロナ禍で学会や研修会が中止になっていましたが、今年度は「withコロナ」ということで、オンライン研修・オンデマンド研修が徐々に始まりました。そして最近では、オンライン参加と会場参加を組み合わせたハイブリッド方式の研修会が主流になってきています。

患者支援センターでも、9月11日に行われたハイブリッド方式の研修に、4月入職の3名の職員が参加しました。会場参加100名、オンライン参加450名という大規模な研修会でした。「成年後見と自己決定～まわりが勝手に決めちゃっている!?～」と題し、意思決定支援の実際についてパネルディスカッション形式で学びました。後見人の方々の生の声も伺うことができ、ご本人の意思決定を尊重することはもちろん、意思決定支援後、その方の人生に「よりそう」ことの重要性を改めて考える機会となりました。



コロナ禍で大変なことも多いですが、悪いことばかりではなく、こんな新しい研修形態への取り組みが進んでいることにも目を向けていきたいです。



敬老の日に寄せて

みのり保育園園長 西坂 美智子

みのり保育園の園児達が敬老の日に寄せて、「青い空の郷」と「さくらガーデン」のおじいさま、おばあさまにプレゼントを制作しました。

まず園児達に敬老の日のことを話し、保育園のそばには、おじいさま、おばあさまが集うおうちがあることを伝えました。そして、おじいさま、おばあさまが毎日気持ちよく暮らせるよう「見ると楽しくなるもの」を作ってプレゼントしませんか、と持ち掛けると、園児達は「がんばって作ってプレゼントする!」と眼を輝かせました。プレゼントするのは「紅葉した大きな木の下で遊ぶハリネズミとリス、そしてそこに咲く可憐なコスモス」と題した全園児共同作品です。



紅葉と動物たちは、手や足に絵具をつけて型取りをします。ある時はそーっと慎重に、またある時はダイナミックに、どの園児も真剣そのもの。そしてとびきりの笑顔で撮影した顔写真をコスモスの花弁に貼りつけて完成です。

できあがった作品を見ながら「喜んでくれるかなあ。」「これを見たら、おじいさん、おばあさん、きっと楽しくなるよ!」と、わくわくする園児たち。この作品が「青い空の郷」、「さくらガーデン」の皆さまの笑顔につながれば嬉しいです。

コロナ禍でお会いできないことが残念ですが、コロナが終息しましたら是非、皆さまと交流させていただければと願っています。



新型コロナ感染対策に関する当院の取り組みについて

看護部 副部長 川越 忠義

新型コロナウイルスが流行しはじめてから、約1年半が経ちました。連日、新規感染者数の推移が報道される中、当院においても、患者さま、ご家族さま、そして職員の安心・安全のため、日々感染対策に取り組んでおります。常に最新の情報を掴み、院内全体で共有した上で機動的に適切な対応ができるよう医療・看護体制の強化を徹底しており、入院時はもちろん、その他の場合でも不調を訴えた方にはスピーディーにPCR検査等を行うことで、感染者の早期発見と感染拡大防止に努めております。

また感染発生時の待機場所としては、院内では個室や多目的ホールを利用、地域の皆さまには「おくっちょ（古民家改装）」を開放することとし、アメニティグッズの充実も図り、いつでも利用いただけるよう体制を整えております。

さらに教育面でも、PPE着脱訓練や感染に対する行動規範を周知し、アウトブレイク防止に努めるなど、コロナ禍を切り抜けていくため日々奮闘しております。

今後も安心・安全な環境が提供できるよう最善を尽くしてまいります。

ホクホク 里芋のから揚げ

【材料（2人分）】

里芋250g
(A) すりおろし生姜大さじ1
(A) すりおろしニンニク小さじ1/4
(A) 醤油大さじ2
(A) 砂糖小さじ1
片栗粉適量
揚げ油適量



免疫UP

さといもには独特のぬめりがありますが、これは「**ガラクトマン**」という成分によるものです。**ガラクトマンは免疫力を高めて風邪を予防する効果**があります。

さといもは秋から冬にかけて旬を迎える野菜なので、ちょうど風邪が流行りはじめる時期と同じですね。そんな時に摂取することで免疫力を高めることができるので、季節の野菜としてもオススメなのです。

管理栄養士の

おすすめ簡単レシピ

作り方

準備：里芋は皮をむきます。

- ①里芋を食べやすい大きさに切り、耐熱容器に並べてラップをし、2分加熱します。
- ②大き目のボールに(A)を入れて混ぜます。
- ③①の里芋が熱いうちに②に入れて全体を時々混ぜながら15分置きます。
- ④里芋の汁気を軽くきり、片栗粉を全体に均一にまぶします。
- ⑤180℃に熱した揚げ油でこんがりと色がつくまで揚げます。
- ⑥皿に盛り付けて完成です。

患者さまの権利

当院職員は、患者さまには以下の権利があることを十分に認識し、これらの権利を最大限に尊重して、日常の診療活動を行います。

1. 人格を尊重される権利
2. 良質で安全な医療を平等に受ける権利
3. 情報を知る権利
4. 自己決定の権利
5. 個人情報の秘密が守られる権利
6. 入院患者さまの通信・面会を自由に行える権利
7. 入院患者さまの退院請求を行う権利及び処遇の改善を求める権利

外来担当医表

診療時間：9時30分～12時30分（受付時間：9時00分～12時00分）

	月	火	水	木	金	土
精神科	石飛 大内	福田 西野	高橋	岡本	渡辺 大澤	武田 松井
歯科	—	山田	—	山田 酒谷	—	—

※医師の都合により、変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。

※歯科診療は、入院または通院されている患者さまを対象とさせていただきます。

精神科デイケア

『桜の咲く丘』

お知らせコーナー

ロボットを用いた共同研究に参画しています！

3年ほど前から、法人の臨床研究助成事業の一つとして、熊崎博一先生（国立精神・神経医療研究センター）、吉川雄一郎先生（大阪大学基礎工学研究科石黒研究室）らとともに「ロボットを用いた精神科患者支援システムの開発」に関する共同研究に、当院デイケアも参画しています。

新型コロナウイルス流行によりしばらく中断していましたが、『ロボット体験会』と題して、先生方とロボット「CommU」を迎えて、利用者の

方に研究協力していただくとともに、実際にロボットを使って行うプログラムを、7月から再開しています。

これまで利用者の皆さまに協力いただいていた「一緒にやってきた研究は、初対面の“人”と“ロボット”とはどちらが話しやすいか、という実験です。」「相手の顔をうかがわなくていいから、ロボットの方が話しやすかった」、「やっぱり人に聞いてもらいたい」、「恥ずかしい話はロボットの方がしやすい」など様々な感想をいただきました。

また、パソコンを使って利用者さまが遠隔で操作し、ロボットの前にいる別の利用者さまと話す体験では、普段お互いに話したことのない相手と話したり、あまり緊張せずに自分のことを伝えることができたりと、ロボットを介することがコミュニケーション力向上の練習に役立つのではないかとこの可能性を実感しました。

AIにより自立して話すロボットが都道府県に関するいろんな質問をしてくれ、利用者の皆さまがそれに答えることで、雑談のようなおしゃべりができました。悩みを聞いてくれるロボットもありましたが、こちらはまだまだ研究途上のようでした。

ロボットをデイケアの治療に役立つものにしていくことをチームの目標として、月1～2回程度は『ロボット体験会』を実施していく予定です。ロボットのような先進技術を精神科医療の分野でどのように使っていくのか、期待が膨らみます。



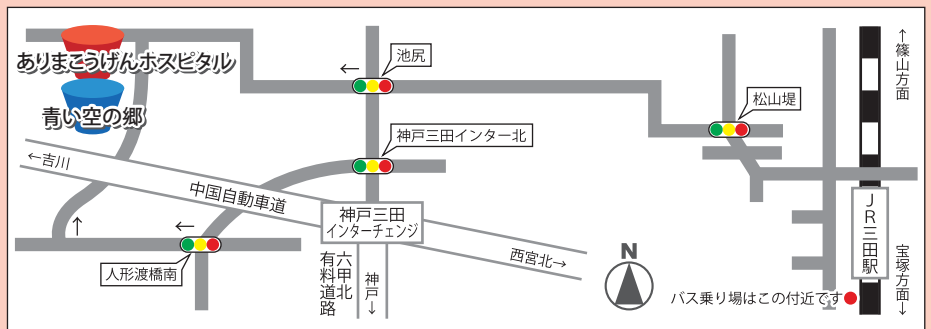
小型ロボット
CommU

デイケア『桜の咲く丘』

大西 祐美（作業療法士）

紙面内容

- 1面 2021年度上半期を振り返って
- 2面 新棟建築工事プロジェクトの進捗状況について
- 3面 患者支援センター研修実施報告
・院内保育園園児による敬老の日の制作について
・コロナ感染対策に関する当院の取り組みについて
- 4面 デイケアからのお知らせ
・外来担当医師表



社会医療法人 寿栄会

ありまこうげんホスピタル

〒651-1512 神戸市北区長尾町上津 4663-3
TEL:078-986-1115 / FAX:078-986-1850
http://www.arimakougen.or.jp

●お車の場合

- ★六甲北有料道路、又は中国自動車道からお越しの場合は…
- ・信号「神戸三田インター北」を北（直進）→0.6km→信号「池尻」を西（左折）1.8kmです。
- ・信号「神戸三田インター北」を西（左折）→0.6km→信号「人形渡橋南」を西（右折）→1.3kmを（右折）0.5kmです。

●電車の場合

JR・神戸電鉄をご利用の方は「三田駅」下車、無料送迎バスをご利用下さい。



日本医療機能評価
機構認定病院